

一般質問

組織改革への 疑問点から



村川四郎 議員

質問

新年度に計画中の組織は「屋上屋を架し、給与を上げ楽をする組織」で理解できない。

① 現組織の問題点と変更目的は何か。

② 人件費の増額はいくらか。

③ 部長の人材はどうするのか。

④ 各支所の特徴を生かす配慮がないのはなぜか。

市長

多発する市職員への苦情を解決するためと住民の多様化するニーズへの対応であり、部長6人の人件費増は年間約300万円である。人材は広く佐渡中に求めて、外部導入も視野に入れる。

支所は旧市町村の既得権を

維持しながら、平準化する。

障害者施設支援への 問題点から

質問

「自治体レベルは福祉でわかる」と言うが、佐渡市には障害者福祉へ前向きな姿勢が見られない。

① 「クローバー」の利用案内が不十分、南部地区の利用対象者は何人か。

② クローバーと、南部の精神障害者通所作業所「サウスクラブ」の運営費の充実を。

③ 「相川希望の家」建設は計画を守るべきだ。

④ 「相川希望の家」建設は計画を守るべきだ。

⑤ 「相川希望の家」建設は計画を守るべきだ。

⑥ 「相川希望の家」建設は計画を守るべきだ。

⑦ 「相川希望の家」建設は計画を守るべきだ。

⑧ 「相川希望の家」建設は計画を守るべきだ。

所している。クローバーの運営費は修繕料と光熱水費61万3000円を補正、県への補助を申請済み。

サウスクラブは賃金と修繕料42万円を補正。希望の家は国県の補助が不採択で、現在、市単独の建設を協議している。

畜産振興計画は

質問

佐渡で期待される畜産業のその後の取組みを問う。

① 畜産酪農担当係の設置を。

② 畜産補助、支援事業の情報公開が不十分。

③ 牧場整備の進行状況は。

④ 雌子牛導入、保留支援事業の拡大と継続を。

⑤ 共同畜舎建設や異業種からの新規参入への支援は。
⑥ 和牛増頭へ預託制度導入を。

市長

畜産振興は、農業バランスのためにも大事。共同畜舎建設や異業種からの新規参入の動きもあり、市は関係機関への支援を検討中である。

⑦ 農林水産課長補佐 耕畜振興係を設置予定。畜産情報は今後



佐渡の原風景が残る関岬放牧場（外海府）

佐渡汽船問題へ 市長の見解を問う

質問

フェリー航行時間10分延長は、観光へマイナス要素であり、なぜ認めたのか。

「小木航路、県廃止を検討」の報道記事の真相と検討会議の内容公開を求める。

① 10分延長は、燃料高騰で「運賃値上げか、時間を延長か」の選択から、油の値下げ時に元の時間に戻す条件で延長となった。小木航路の報道は、会議内容と若干異なる。会議では航路存続が第一目的だが小木航路は赤字が大きく、今後4つの条件の中で航路のあり方についての検討は避けられない。